

都道府県番号	18
都道府県名	福井県

【都道府県教育委員会における学力向上フロンティア事業の取組】

I. 学力向上推進地域名及び学校数、学力向上フロンティアスクール数

学力向上推進地域名	小学校 (うちフロンティアスクール)	中学校 (うちフロンティアスクール)	計 (うちフロンティアスクール)
福井県学力向上推進地域	217校 (16校)	80校 (8校)	297校 (24校)

II. 学力向上推進協議会（地区協議会）の設置数及び域内の学校数

地区協議会名	小学校 (うちフロンティアスクール数)	中学校 (うちフロンティアスクール数)	計 (うちフロンティアスクール数)
①福井・高志地区協議会 (福井市、松岡町、永平寺町、 美山町、上志比村)	54校 (4校)	24校 (2校)	78校 (6校)
②坂井・奥越地区協議会 (三国町、芦原町、金津町、 丸岡町、春江町、坂井町、大 野市、勝山市、和泉村)	52校 (4校)	15校 (2校)	67校 (6校)
③鯖丹・南越地区協議会 (鯖江市、武生市、朝日町、 宮崎村、越前町、越廼村、織 田町、清水町、今立町、池田 町、南条町、今庄町、河野村)	50校 (4校)	22校 (2校)	72校 (6校)
④二州・若狭地区協議会 (敦賀市、小浜市、三方町、 美浜町、上中町、名田庄村、 高浜町、大飯町)	61校 (4校)	19校 (2校)	80校 (6校)
合 計	217校 (16校)	80校 (8校)	297校 (24校)

III. 都道府県教育委員会としての支援策

○地区別協議会に対して

- ・ 連絡協議会を開催し、市町村教育委員会の担当指導主事およびフロンティアスクールのフロンティアティーチャーに対して、実践研究の進め方や研究のポイント等について指導・助言した。
- ・ 全フロンティアスクールの実践研究をまとめた報告書を作成する際に、その成果の普及ということで、全小学校における学力向上策についても掲載した。

○域内の学校（学力向上フロンティアスクール含む）に対して

- ・ 授業研究会や地区協議会等に指導主事を派遣し、指導、助言を行った。
- ・ 学力向上研究協議会を全学校を対象に開催し、県内全域への成果の普及を図った。
- ・ 全フロンティアスクール校の研究概要を県のホームページに掲載し、公開授業日の紹介や研究内容に関する情報の共有化を図った。
- ・ 個に応じた指導はもとより、授業公開、子どもたちの変容の数値化、副教材の開発等を徹底するよう指導した。

IV. 学力把握のための都道府県としての取組について

昨年11月に全県的に第51次の学力調査を実施した。（小学校第6学年、中学校第3学年対象）この調査結果から、各教科の弱点を明らかにし、今後の指導改善に生かしている。

県は、平成15年度に弱点克服のドリル（小学校第3学年～中学校第3学年）を作成し、全小中学校に配付し、各校の学力向上を支援した。

V. 学力向上推進協議会について

○開催時期（参加対象）

- （第1回）4月（フロンティアティーチャー、指導主事）
- （第2回）6月（フロンティアティーチャー、教員、指導主事）
- （第3回）1月（フロンティアティーチャー、教員、指導主事）
- （第4回）2月（フロンティアティーチャー、指導主事）

○テーマと主な協議内容（協議の中で提示された成果や課題など）

（第1回）「テーマ：学力向上の取組みの推進」

主な協議内容

- ・ 個に応じた指導と信頼される学校づくり
- ・ 学力調査報告書の活用

（第2、3回）「テーマ：学力向上フロンティア校の研究成果の発表」

主な協議内容

- ・ 学力向上についての取組みの具体的な方策等（実践発表〔7校〕）
- ・ 個に応じた指導の成果、子どもの変容の数値化、副教材の作成等

（第4回）「テーマ：本年度の事業の総括」

主な協議内容

- ・ 数値化についての留意事項
- ・ 学力を高める授業の在り方
- ・ マネジメントサイクルを生かした校内研修の推進

（成果）

- ・ 指定校の成果の普及、全県下の小・中学校で学力向上の取組みが本格化
- ・ 個に応じた指導の深化、指導方法の工夫等による学力の向上
- ・ ティームティーチングや習熟度別指導の普及

（課題）

- ・ 学力向上の要因の考察と数値化を行う際の留意事項
- ・ カリキュラムマネジメントと校内研修の充実
- ・ 学校の取組みに対する外部評価のあり方

VI. 実施計画書において示した「事業評価の実施方法・内容」とその進捗状況

(実施方法・内容)

- ① 新学習指導要領に基づく学力調査を実施し、客観的かつ継続的に各フロンティアスクールの実績から変容を評価する。
- ② 教員、児童・生徒、保護者、地域による各フロンティアスクールの学校評価を継続的に行う。
- ③ ①②をもとに研究協議会等でフロンティアスクールの特色ある取組みの効果を評価する

(進捗状況)

- ① 学力調査を昨年11月に実施した。近く、報告書を配布する。この報告書によって、調査結果を踏まえた今後の各教科の指導の重点事項等を示す予定である。
- ② 全フロンティアスクールの1年間の実践報告書を作成し、全小・中学校に配布する。今回は、全小学校の取組みも掲載し、本事業の成果の県内全域への普及を図る。
- ③ 県として、フロンティアティーチャーを指導する会議を年間2回開催した。
- ④ 基礎学力向上研究協議会を2回開催した。市町村の指導主事や教科指導員に加えて、フロンティアティーチャーが参加し、実践事例を基に評価等の研究協議を行った。
- ⑤ 学力調査の結果、弱点と評価された事項の克服のために、ドリルを作成・配付した。

【地区別協議会における特色ある取組】

- ・ 保護者を交えた研究協議（福井・高志地区協議会）
- ・ フロンティアスクールの研究推進担当者と文部科学省教科調査官との意見交換を通じた研究に関する課題の整理（鯖丹・南越地区協議会）
- ・ 県外の実践校の教員による講演と研究協議（坂井・奥越地区協議会および二州・若狭地区協議会）

以上のことを、すべての地区協議会が域内の全小・中学校の教員を対象に実施した。